

# はしマイスター 浅野鍛冶屋 (あさのかじや)

～伝統の作刀法を継承/情報発信で鍛冶屋を「憧れの仕事」に～



## ◆ 申請者に関すること

申請者 (企業)	浅野鍛冶屋	業種	かじ業 (刀鍛冶)
従業員数	2名	所在地	江吉良町
勤務先の形態	自営業	沿革	平成16年関市で設立 平成18年に羽島市に移転

## 活動概要

浅野鍛冶屋 (横座: 浅野太郎氏) は、刃物のまち関市で修業の後、昔ながらの作刀法を継承したかじ業を市内で営んでいる。和鍛冶技法に特化し、刀だけでなく包丁やカトラリー (食卓用ナイフ等) の商品も開発・販売。一般向けのワークショップでは、「鍛造」「削り」「焼き入れ」「研ぎ」の本格的な工程でナイフを制作できることから、女性や外国人にも人気が高い。

刀を造る工程の美しさを「エンターテインメント」と捉え、積極的に情報発信することで、伝統技術の保存・継承に繋げている。

## ◆ 評価項目に関すること

### ①-1 技術力 市内唯一の刀鍛冶・世界最古で最高峰の技術

- 市内で唯一の刀鍛冶で、世界最古・最高峰の技術を引き継いでいる。
- 鍛錬では、ひとつひとつの所作や工程を重視。燃料は岩手県産の松炭で、重油やコークス等に頼らない昔ながらの鍛冶技術にこだわっている。鍛錬に使用する銚も、既製品ではなく全て手作りである。
- 鍛冶場を増設 (平成29年)。弟子を採り、後継者育成に積極的である。

### ②資格・表彰・販売実績 刀匠資格・コンペティショングランプリ受賞

- 刀匠資格 (美術刀剣刀匠技術保存研修会修了: 平成14年度)
- 高岡クラフトコンペティションでグランプリ受賞 (平成24年)
- 熱田神宮宝物展に日本刀を展示 (平成26年)
- タビナカ体験予約サイト「VOYAGIN」のインバウンド事業伝統工芸体験部門で、予約数日本一を獲得 (平成27年)
- 地域経済活性化セミナーNOBUNAGA (十六銀行・野村証券・監査法人トーマツが実施したビジネスプランコンテスト) で特別賞を受賞 (平成31年)
- 公益社団法人「企業メセナ協議会」で芸術・文化支援活動認定 (令和元年)

### ③認知度 新聞・テレビ・ラジオ・雑誌等 (10社) で報道

- 中日・岐阜・中部経済新聞の取材を受け、活動概要に関する記事が掲載された。(直近: 令和元年8月9日岐阜新聞)
- フジテレビ、CBCテレビ、NHKで活動概要に関する内容が放送された。(直近: 令和元年8月10日CBC「花咲かタイムズ」)
- フリーペーパー「はしまる」(巻頭特集)、岐阜チャンラジオ、雑誌「monoマガジン」、「BE-PAL」にも掲載・出演した。

### ④協力体制 PV出演 ふるさと納税返礼品登録 イベント出店

- 広域観光事業「円空路プロモーション動画」に出演した。
- ふるさと納税返礼品に「包丁 (SAMURAI KNIFE)・カトラリーセット・ナイフ作り体験」を登録している。
- ふじまつりでの鍛冶実演、岐阜羽島駅前フェスで鍛冶体験ブースを設置した。

### その他 海外での公開鍛錬・異業種との交流・インバウンド

- フランス等での日本刀公開鍛錬など、国内外から招聘され、世界各地の鍛冶職人、学芸員、研究者と交流。ミネソタ大学での講演など、「鋼」の研究にも協力している。
- 長良川おんぱく、ててて往来市 (渋谷区)、森道市場 (蒲郡市) など市外でも出店。
- ワークショップ (鍛冶体験) には延べ1200人以上が参加しており、市内のみならず県内のインバウンド増加に貢献している。
- 中部地方の匠が集まる「KASANE CHUBU」に名を連ね、鉄の塊からゴルフのアイアンヘッドを削り出すプロジェクトに参画した。